

くすり博物館だより



〒483 岐阜県羽島郡川島町・内藤記念くすり博物館・Phone:058689-2101

第19号

特別展

錦絵にみる医療と健康

—江戸・明治を中心に—

7月1日～9月30日

新館特別展示室にて

約60点公開中です

昔から人々は病気に苦しみ、またその病気と闘ってきました。今では怖い病気でなくなった麻疹（はしか）や、根絶宣言のされた疱瘡（ほうそう・天然痘）は何度も流行し、多くの人々が命を落としました。病気の原因も治療の方法もわからなかった当時の人々は、ただひたすら神仏に祈り、まじないを信じ、食事に気を配るといった手段でしか、病と闘う術はありませんでした。

時代が明治に入り、病気の原因や、治療の方法が少しずつ知られるようになります。そのために衛生教育の普及や、健康維持のための心得などを書いた小冊子やちらしが多く出回り、病気の予防に貢献しました。

今回の特別展では、錦絵・ちらしを中心に人々の健康への切実な願いと、その闘いのあとをたどってみました。

ぜひ、おでかけください。

〈はしか絵〉

「疱瘡は見目定め、はしかは命定め」ということわざがあるように、はしかは当時の人々にとって命にかかわる恐ろしい疫病でした。五代將軍綱吉もはしかで亡くなっています。

「はしか絵」は、はしか避けのまじない、養生法などがしるされている錦絵で、多数出回りました。

はしかのまもり▶

はしかのまじないに使われる、金柑・麦・飼ば桶が擬人化されて描かれています。



◀流行麻疹退散の図

右上に描かれている葉はタラヨウ（モンツキシバ）の葉で、これに「麦殿は生れながらにはしかして、かせたる後は我身なりけり」と妻楊子などで搔きつけ、川に流せば軽くすむという言い伝えのあったものです。



はしかによきもの
悪きもの番付表▶

はしかを医者と馬屋が投げとばしています。馬屋がはしかに強いというのは、はしかの患者に飼ば桶をかぶせると軽くすみ、命に別条はないとするまじないによるものです。



〈疱瘡絵〉

大変恐ろしい疫病のひとつだった疱瘡は、1980年、WHOの根絶宣言がなされました。疱瘡は多くの先人の絶えぬ努力の結果、記録の中だけに存在する疫病となったのです。しかし、それまでには何度も流行を繰り返し、人々を苦しめてきました。

疱瘡絵は疱瘡にかからないように、また、軽く済ませるため、枕元におかれたものです。疱瘡をひきおこす鬼は赤色を嫌うという言い伝えのため赤く色付けされたものが多く、赤絵ともいわれます。なお疱瘡絵は、病がなおると川に流す風習でしたので、あまり残っていません。



◀疱瘡守護善神



▲正一位八郎大明神正像

八丈島に疱瘡が流行しないのは、そこに流された鎮西八郎為朝のおかげだとされました。

〈コレラ絵〉

虎列刺病予防の心得▶

頭上の動物は虎の皮模様、狼の頭、狸の体付で、虎狼狸(ころり)という語呂合わせから造られたものでしょう。

予防法として、下水や不潔な場所に緑礬・石炭酸をまくとよいと記されています。



今でも時々、海外で感染し帰国する人がいるコレラは、文政5年(1822)には日本に上陸、猛威をふるいました。その後も数回大流行しました。

コレラは病状の進行が大変速く、「即時に病みて、即時に終われり」と恐れられました。

犠牲者の数は知れず、火葬場には棺桶が山のようだったということです。

〈食い合わせ〉

食い合わせは迷信で、根拠のないものですが、当時は病気の原因や予防法がわからなかったため、食い合わせが病気の原因になると、人々は考えていました。

食ひ合せ御要心▶

浅田宗伯翁誠言と銘うって明治35年に出されたものです。

大禁物として、天ぷらとキノコで中風、いり豆とカニで肺病など、食い合わせによって諸病がおこると書かれています。



〈生活と衛生〉

明治時代になると、医学の進歩とともに、疫病の原因も次第にあきらかになり、わかりやすい掛図やポスターなどで衛生教育がなされました。

基の福幸は生衛



◀衛生は幸福の基

蠅の駆除の方法や、伝染病を防ぐための心得、トラホームについてなど、具体的な知識の啓蒙がされています。

今年の夏も 盛りだくさん!

— 夏の催事のご案内 —

博物館では、この夏もみなさんに参加していただける行事を企画しました。

昨年の「植物採集会」・「草木染教室」には、多くの方が参加され、大変好評でした。

今年は「植物画講座」も加わります。ぜひ、お気軽にご参加下さい。

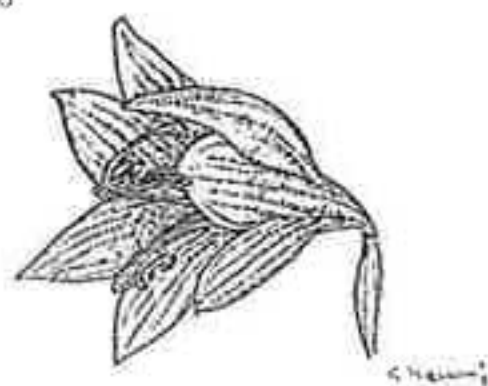
🌿植物画講座

薬草園の花を観察し、丸ペンを使って精密な絵を描いてみましょう。

○日時 7月16日 午後1時～4時
7月17日 午前9時～12時

※2日間で完成です。

○対象 中学生以上一般
○定員 15名
○参加費 700円
○締切り 7月9日



🌿親と子の植物採集会

河原にはどんな植物が生えているでしょう。

○日時 7月29・30・31日, 8月6・7日
午前8時半～11時

○対象 小・中学生
○定員 各日20名
○参加費 100円
○締切り 7月22日

🌿親と子の草木染め教室

身近な草木や野菜でハンカチを染めましょう。

○日時 7月28・29・30・31日
8月2・3日 10時～14時

○対象 小・中学生
○定員 各日15名
○参加費 200円
○締切り 各日5日前

🌿コース名・希望日・住所氏名・年齢
電話番号を明記して、往復ハガキで申し込んで下さい。追って詳細をお知らせいたします。

くすり事始(5)

1977年ワシントンのスミソニアン博物館群の1つである国立歴史技術博物館(現在国立アメリカ歴史博物館と改称)を訪問したとき

のことです。医学のコーナーにクサビ形文字が刻まれた

文庫本ぐらいの粘土板(Smerian Clay Tablet)の複製が展示されており、First Medical Writingと説明がありました。この世界最古の4千年も昔の粘土板にどんな薬が書いてあるのかと、大変興味を覚え、本物を所蔵しているフィラデルフィアのペンシルバニア大学附属博物館へ飛びました。

冬の寒い日でしたので大学附属博物館は閑散としており、一つ一

つゆっくり見学できました。

地下の一室には数多くのクサビ形文字を刻んだ粘土板や刻印土(粘土製の錠剤で、それぞれにマークが刻んである)が展示されており、医学のコーナーにお目当の粘土板がありました。

世界最古の薬の記述

クレイ・タブレット(粘土板)

その説明によると、この粘土板はチグリス・ユーフラテスの流域で見られたもので、スメリヤ人の医師によって12以上の処方を書いてあり、薬としては次のものが出ています。植物性ではニッケイ、ギンバイカ、アギ、タイム、ヤナギ、セイヨウナシ、セイヨウモミ、イチジク、ナツメヤシなど、動物性では乳、蛇皮、亀甲。鉱物性では食塩、硝石です。

これらの薬は酒に浸したり、ゴマ

油、ツェーデル油や蜂蜜、水、油などと混ぜ外用にします。また内服にはアルカリや塩を加え沸騰水で煎じて用います。飲みにくい薬はビールやミルク、油などと一緒にして飲むということも書かれています。

見学が終り売店で複製を求めたところ、偉そうな人

が出てきて、職業や使用目的を聞かれましたが「君はラッキーだ、複製した最後の1つをあげるよ」と、にこやかに渡してくれました。今、くすり博物館に展示してあるのがそれです。



スメリアのクレイタブレット
(複製)

薬草豆知識

ニッケイ(シナモン)

ニッケイはギリシャ、ローマ時代よりもっと古い時代から交易され利用されてきたスパイスであり、また、重要な薬物のひとつでもあります。

肉桂または桂皮とよばれて利用されるものには幾つかの種類がありますが、品質優良でよく知られているものにセイロンニッケイと中国ニッケイがあります。

セイロンニッケイはインド南西部、スリランカ、インドネシアなどで栽培され、通常5～6年の樹を切り、表皮を除いて樹皮をはぎとり乾燥し

たもので、ヨーロッパでシナモンとして使われているのがこれです。特に香味が優れているといわれ、薬用よりも香料とされ、カレー料理、調味料、製菓用、飲料に用いられます。

中国ニッケイは中国南西部からベトナムにかけて栽培され、セイロンニッケイと同じように生産されます。中国ニッケイのほうがやや辛味が強く、主に薬用とされています。

桂皮には芳香健胃、発汗、解熱などの薬効があり、種々の漢方薬に処方されており、よく知られたものとしてカゼのときに用いる「葛根湯」にも入っていますし、ほとんどの漢方胃腸薬にも使われています。もち

ろん薬用以外では菓子、飲料の香料にもされ用途は広く、京都名物の一つといわれる「八ッ橋」の香味の主役でもあります。

デパートの調味料コーナーで入手できますので、ドーナツやケーキづくりに用いてみてはいかがでしょうか。(薬用植物園 白井 英夫)



セイロンニッケイ

とびっくす

▶植物画講座が好評です

去る5月15日と22日の2回、丸ペンで薬草を描く講座を開催。25名の方が参加、楽しめました。ペンをもつのは初めての方が大半でしたが、完成した作品はなかなかのもの。

今後も是非続けたいという声も聞かれ、夏の催事にも再登場。秋冬にも講座開催の予定です。



▶高血圧学会に「くすりの博物館」

第12回国際高血圧学会が、5月22日～26日、国立京都国際会館で開催されました。印籠、白沢像など30点を展示。内外の医薬関係者約2000人に観ていただきました。

▶一角の牙は何でけずるの？

NHKクイズ番組「ふしぎとみあい」6月23日放映分で、くすり博物館から「一角の牙は何でけずるの」という出題がなされました。

一角(イッカク)はくじらの仲間、体長4.5m。北氷洋にすみ、イカや貝、魚類を食べます。その角のような長い牙を、解熱・解毒剤として用いました。その牙を粉にする時に使われた珍しい道具は何でしょう。

- ①巻き貝の殻
- ②サメの皮
- ③トクサの茎

お解りですか。正解は②です。



▲イッカク

～資料提供者ご芳名～

心から厚くお礼申し上げます

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 天野清子 | 有田一郎 | 泉 宏昌 |
| 一色 玄 | 伊藤隆介 | 伊槻 健 |
| 梅溪 昇 | 江馬庄次郎 | 太田康彦 |
| 大滝武雄 | 大橋清信 | 小角薬局 |
| 小野真孝 | 木村千賀子 | 木村雄四郎 |
| 国本恵吉 | 坂崎信之 | 坂田政泰 |
| 佐藤 汎 | 清水龍夫 | 新宮知二 |
| 世古口 徹 | 高取 健 | 高橋 文 |
| 高久史鷹 | 辰野美紀 | 田邊源三郎 |
| 田邊 普 | 陳 玉麟 | 外山章夫 |
| 虎谷豊二 | 内藤幸次 | 内藤祐次 |
| 内藤よね | 中沢一郎 | 中山茂春 |
| 萩野健一 | 濱田昌則 | 広瀬 鎮 |
| 藤井包子 | 堀 泰助 | 前嶋高藏 |
| 宮田親平 | 宮本伸子 | 山口 正 |
| 山下拓男 | 湯浅四郎 | 吉井千代田 |

(敬称略)

▶人事消息

- | | | |
|----|-------|-----|
| 採用 | 稲垣 裕美 | 学芸員 |
| | 吉本 直美 | 学芸員 |